



実施状況（本宮市・3日目）

ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業のワークショップとして、まき鯛車商店街（新潟県新潟市）を視察しました。

平成27年7月23日（木）10:45～15:00

新潟県新潟市・まき鯛車商店街

〔ワークショップ〕

まず、元役場の建物を改修してできた「鯛の蔵」で、「鯛車復活プロジェクト」のお話をお聞きしました。



江戸時代末期から巻地区に伝わる鯛車は、お盆の時期に、ろうそくを灯してこども達が引いて歩く郷土玩具で、晩夏の風物詩だったそうです。

鯛車復活プロジェクトは、11年前から活動が始まり、現在は鯛車教室が東京でも開催されているほどです。



次に、鯛車を商店街の活性化につなげている「まき鯛車商店街」の商売繁盛実行委員会のお話をお聞きしました。



人通りがなく寂しい街並みを何とかしようと、若い商店主達が立ち上がり、お店に共通のポスターを貼ったり、のぼり旗をつくったりしたことで、5年ほど前から次第にお客さんが増えてきたそうです。

市町村の合併でなくなった「巻町」という名前を残すため、また商店街で見つかった古い鯛車を街のシンボルにしようということで「まき鯛車商店街」となったそうです。

～ふくしまの子・ふるさとの商店街プロデュース事業について～

この事業は、ふるさとの商店街に賑わいを取り戻すため、地域のこども達が商店街について楽しみながら学び、考え、アイデアを実現することにより「商店街の活性化」と「こども達のふるさとへの愛着心（まちづくりへの参画の第一歩）の醸成」を図るもので、平成27年度は会津若松市、南相馬市、本宮市の3地域で実施しています。ワークショップでこども達が考えたアイデアを、こども達が中心となって実現します。



ふくしまからはじめよう。

Future From Fukushima.

※ 全国の皆様からいただいた寄付金を財源とする「福島県東日本大震災こども支援基金」を活用しています。

商店街プロデュース事業

検索